

シリーズ
26
にしながしま
西長島

さらに深まる人情と絆

すっかり暖かくなり、旅行にハイキングにともってこいの季節です。でも、農家の人たちにとっては農作業の一番忙しい時期ですね。今月の「おじゃまします」地域情報ネットワークは、そんな田園地帯の真つただ中にある西長島地区におじゃましてみました。

ここ西長島地区は、戸数が二十三戸と戸数的には小さな集落ですが、その歴史はとても古く、約三百年（明歴初期頃）くらい前に現在地に移り住んだのがはじまりといわれています。

そんな歴史をもつ西長島地区、古くは「長島」と呼ばれていましたが、当時、月潟村にも長島という同名地区があったため、明治十二年、月潟村の長島地区は「東長島」に、そして本村の長島地区は「西長島」と改称され現在の地区名となりました。



地区内を東西に走る県道白根間瀬線

地区のほぼ中央にあり、以前は役場庁舎（合併前）をはじめ農協、学校、駐在所と村の公共施設が集まる地区でもありました。

ところで、集落規模の小さいここ西長島地区で、昨年、地区ぐるみの一大事業（神明社鳥居改修）が行われました。

「当地区には、豊受大神様を祀る神明神社があり、四百有余年の永い間私たちの集落や祖先を守り続けてくれました。しかし、この神明社の社殿や鳥居も、長い間厳しい自然の風雨にさらされたためその老朽化が進み、なんとかしなければならぬと苦慮してました。そして昨年、今回の鳥居再建や社殿改修をやるうと計画が持ち上がり、たまたま同年激動の昭和が平成にかわったという記念すべき年となり計画が具体化しました」と、今回の一大事業の発端を話す区長の藤田稔さん。

「でも、この計画が持ち上ったのはいいんですが、当時、神社会計に資金はほとんどなく、それに当地区は戸数が二十三戸と少ないためその資金調達がどうかと正直いって心配でした」と振り返って話す区長さん。

でも、そこは西長島の人たち、昔ながらの人情とまとまりは強く、地区発展のためならと地区をあげてこの浄財集めが行われました。「いやあ、今回の事業には地区の人たちをはじめ関係の方々からもご協力いただき、浄財集めも目標を大幅に超える金額が集まりました」と話す藤田区長さん。そんな訳で、西長島地区の一大事業も、昨年は鳥居を再建、今年

は観音堂修復（社殿も今年修復予定）も終わ

西長島
ミニデータ

(人口と世帯)

人口	113人
男	51人
女	62人
世帯数	23世帯

平成2年4月1日現在

り、神社境内も新しく生まれかわりました。「神明社の改修工事もほとんど終わり、これからは地区の守り神として、又、地区民の憩いの場として大いに利用してもらいたいですね。それに、学校も近くにありまして子供たちからも自然と親しむ場として利用してもらえれば」とも願う区長さんでした。

このように小さい集落ながら、まとまりの良さや地区思いの強いことでは、村内屈指の西長島地区。そして、今回の事業を通してその絆もさらに深まった西長島地区でした。



昨年行われた鳥居修復を地区民総出で祝い合った西長島地区

あなたも日赤社員に

日赤岩室分区分

日本赤十字社は、毎年社員の方々がまからいたたく社費で、いろんな救護活動や献血事業などを行っています。今後も村民の方々が温かいご理解をいただき、多くの方々が社員となつていただくことが日赤の発展につながりますのでご協力をお願いします。

新徳県立自然科学館

催物案内

■ファミリーコンサート 県警音楽隊の楽しいコンサートです。
▼日時：5月5日(土)午前11時40分～12時30分 ▼観覧料：通常の入館料です。▼天体観望会 ▼日時：5月11日(金)、31日(木)各日とも午後7時～9時▼対象：小学生以上▼参加料：無料です。▼野鳥観察会 鳥屋野潟周辺に飛来する鳥たちを観察しよう▼日時：5月13日(日)午前10時～12時▼参加料：通常の入館料です。●なお催物についてのお問い合わせは、新徳県立自然科学館(☎025-238-3331)へ。

—お詫びします—
広報4月号の暮らしのメモ帳欄で、日程等に誤りがありましたこと、深くお詫び申し上げます。

【広報いわむろ】第三七号 平成二年(一九九〇年)五月一日発行 毎月一回一日発行 【発行】岩室村役場 【編集】総務課 【新潟県西蒲原郡岩室村大字西中八六〇(九九五三〇)】 ☎025-256-1824 二代印刷 北洋印刷